

武蔵野市コミュニティーセンター整備計画

(公共施設等総合管理計画 類型別施設整備計画)

令和4年3月

武蔵野市 市民部 市民活動推進課

目次

第 1 章	計画策定の背景・目的と位置付け ・・・・・・・・・・	1
1	策定の背景と目的・・・・・・・・・・	1
2	計画の位置付け・・・・・・・・・・	1
第 2 章	対象施設と計画期間 ・・・・・・・・・・	2
1	対象施設一覧・・・・・・・・・・	2
2	計画期間・・・・・・・・・・	2
第 3 章	個別施設の状況等 ・・・・・・・・・・	3
1	特徴及び課題・・・・・・・・・・	3
第 4 章	今後の対応方針 ・・・・・・・・・・	14
1	コミュニティセンター全般・・・・・・・・・・	14
2	特殊事情のある施設・・・・・・・・・・	14
3	スケジュール及び費用（保全改修）・・・・・・・・・・	16

資料編

第1章 計画策定の背景・目的と位置付け

1 策定の背景と目的

武蔵野市では、これまで公共施設の三層構造（全市レベル、駅勢圏レベル、コミュニティレベル）の考え方をもとに、計画的に公共施設の整備を進めてきました。

本市のコミュニティセンターは、昭和46年の第一期の基本構想・長期計画の策定において掲げられた「コミュニティ構想」を受け、三層構造のうちのコミュニティレベルの施設として、各地域の住民の要望に基づき整備されてきました。第1号館の「境南コミュニティセンター」が昭和51年7月に開館して以降、分館等を含めて19の施設を数えます。また、コミュニティセンターは、市民による16のコミュニティ協議会により、「自主参加、自主企画、自主運営」という自主三原則に基づき運営され、コミュニティづくりの核となっています。

一方で、将来にわたって健全な財政を維持しながら、公共施設を時代のニーズに合った施設に再整備し、魅力あるまちづくりを目指すため、市では平成29年2月に「武蔵野市公共施設等総合管理計画」（以下、「総合管理計画」という。）を策定しました。総合管理計画では、すべての公共施設等を俯瞰する基本的な方針を示すとともに、当該計画に基づく各類型別の施設ごとの整備計画（類型別施設整備計画）の策定を進めることとしています。

コミュニティセンターについても、築後60年が目途となる施設更新を見据え、施設整備のあり方を検討していく必要があります。武蔵野市第四期コミュニティ評価委員会（平成31年3月～令和2年10月）において今後の施設整備や維持管理に求められる考え方について検討が行われました。

本計画は、第四期コミュニティ評価委員会の報告を踏まえ、コミュニティセンターがコミュニティづくりにおける地域の拠点としての機能を維持し、向上させていけるよう、今後のコミュニティセンターの整備方針や年次計画について示すことを目的としています。

2 計画の位置付け

本計画は、本市の最上位計画である「武蔵野市第六期長期計画」及び総合管理計画に基づき、これを推進するために、第四期コミュニティ評価委員会の報告を踏まえ、本市のコミュニティセンターに関する類型別施設整備計画としてまとめたものです。

第2章 対象施設と計画期間

1 対象施設一覧

本計画の対象施設の名称及び位置は以下のとおりです。

名称	位置
境南コミュニティセンター	境南町3丁目22番9号
西久保コミュニティセンター	西久保1丁目23番7号
吉祥寺東コミュニティセンター	吉祥寺東町1丁目12番6号
中央コミュニティセンター中町集会所	中町1丁目28番5号
吉祥寺北コミュニティセンター	吉祥寺北町1丁目22番10号
本町コミュニティセンター	吉祥寺本町1丁目22番2号
八幡町コミュニティセンター	八幡町3丁目3番16号
関前コミュニティセンター	関前2丁目26番10号
御殿山コミュニティセンター	御殿山1丁目5番11号
中央コミュニティセンター	中町3丁目5番17号
桜堤コミュニティセンター	桜堤3丁目3番11号
吉祥寺南町コミュニティセンター	吉祥寺南町3丁目13番1号
緑町コミュニティセンター	緑町3丁目1番17号
西部コミュニティセンター	境5丁目6番20号
吉祥寺西コミュニティセンター	吉祥寺本町3丁目20番17号
けやきコミュニティセンター	吉祥寺北町5丁目6番19号
本宿コミュニティセンター	吉祥寺東町3丁目25番2号
吉祥寺西コミュニティセンター分館	吉祥寺本町4丁目10番7号
関前コミュニティセンター分館	関前3丁目16番6号

2 計画期間

本計画の期間は、令和4（2022）年度から令和13（2031）年度までの10年間とします。
なお、この期間内であっても、第六期長期計画・調整計画の策定、総合管理計画の見直し、社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて見直すことがあります。

第3章 個別施設の状況等

1 特徴及び課題

コミュニティセンターは、市民によるコミュニティづくりの拠点として設置され、市民の誰もが自由に利用出来る多目的施設です。コミュニティセンターでは、施設を運営する地域のボランティアであるコミュニティ協議会が、それぞれコミュニティづくりの事業を自主的に実施しています。

一方、各コミュニティセンターの施設の老朽化に伴う改修やバリアフリー化等については、定期点検等に基づき状況に応じて実施されています。計画期間中の具体的な大規模改修工事の予定は、第4章の「3 スケジュール及び費用」のとおりです。

特に近年では、バリアフリー化の取り組みの一環として順次エレベーターの設置工事を行っており、高齢の利用者や障害のある利用者であっても、だれもが気持ちよく安全に利用できるコミュニティセンターの実現に向けて改修工事を進めています。ただし、構造上設置が困難な2か所のコミュニティセンターへの対応が課題となっています。

今後は、築後60年の時期を目途に迎える施設更新を見据え、計画的に施設整備のあり方を検討していくことが求められています。

コミュニティセンターの施設ごとの状況については、次頁以降に記載のとおりです。

なお本市においては、施設の耐用年数（60年）に対する残耐用年数により、以下のとおり各施設の老朽度を示しています。

【老朽度】

老朽度A：築後10年以下（大きな改修などが不要）

老朽度B：築後10年超～25年以下

老朽度C：築後25年超～35年以下（大規模改修実施時期）

老朽度D：築後35年超～50年以下

老朽度E：築後50年超（更新の準備時期）

※以下の施設ごとの記載における老朽度は令和3年4月1日現在。

(1) 境南コミュニティセンター

建設概要	
建設年度	昭和51年度(老朽度D)
延床面積	1638.58㎡
構造	RC造 地上3階
その他	平成16年耐震補強改修工事



平成12年以降の主な施設改修工事の状況 (年度)	
平成16年	耐震補強改修工事
平成21年	外壁・軒裏改修工事
平成24年	エレベーター改修工事
平成28年	空調設備更新工事
平成29年	屋上防水工事
令和2～3年	給排水設備等更新工事

特徴及び課題	
<ul style="list-style-type: none">・ 体育室（館）を持つ3コミセンのうちの一つである。市境にあるため、近隣市からの利用も多い。・ 建設当時の周辺住民との合意調整により高さを抑えるため半地下になっている。・ 地上3階建てで、敷地面積・建物面積・延床面積ともにコミセンの中では市内最大の広さである。・ 令和3年度に大規模改修を終え、給排水や電気等の設備や内装がリニューアルされた。	

(2) 西久保コミュニティセンター

建設概要	
建設年度	昭和51年度(老朽度D)
延床面積	1433.77㎡
構造	RC造 地上2階・地下1階
その他	平成14年耐震診断、耐震性能あり。



平成12年以降の主な施設改修工事の状況 (年度)	
平成19年	エレベーター改修工事
平成23年	空調設備更新工事
平成25年	アルミサッシ改修工事
平成27年	給排水管・トイレ等改修工事

特徴及び課題
<ul style="list-style-type: none"> ・建設当時、近隣の同意を得るため半地下にして高さを抑えている。 ・敷地南側には約800㎡の広場がある。 ・児童・老人・障害者の安全・使いやすさを重視。危険防止のため内部に柱を立てない造りとした。 ・コミセンとして初めてエレベーターを設置した（建設当時は3階程度の低層建物にエレベーターは付けていなかった）。 ・玄関入口左側にスロープを設置。各階に障害者用トイレを設置。

(3) 吉祥寺東コミュニティセンター

建設概要	
建設年度 昭和52年度（老朽度D） 延床面積 243.35㎡ 構造 RC造 地上1階 その他 平成17年耐震診断、耐震性能あり	
平成12年以降の主な施設改修工事の状況（年度）	
平成26年 大広間空調設備更新工事	
特徴及び課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・野田九浦の邸宅跡であることから「九浦の家」と称され、地域に親しまれている。 ・コミセン（分館を除く。）で唯一平屋建てであり、最も延べ床面積が小さい。 ・純和風な落ち着いた趣のある庭をもつ。 ・部屋数が少ないため、利用者の希望に応えきれない部分あり。 ・ホールは最大で60名程度しか入らないが、隣の児童室も合わせて使う等の工夫をしている。 	

(4) 中央コミュニティセンター中町集会所

建設概要	
建設年度 昭和52年度（老朽度D） 延床面積 205.42㎡ 構造 RC造 地上2階 その他 平成17年耐震診断、耐震性能あり	

平成12年以降の主な施設改修工事の状況（年度）
平成26年 大広間空調設備更新工事
特徴及び課題
<ul style="list-style-type: none"> ・三鷹駅の近くで交通の便が良いため、他市からの利用者が多い。 ・住宅が近接しているため、音の出る活動に制約がある。 ・中央コミュニティ協議会が2館の管理運営を行っている。管理運営を担うコミュニティ協議会の人員確保が課題である。

(5) 吉祥寺北コミュニティセンター

建設概要	
建設年度 昭和53年度（老朽度D） 延床面積 1381.10㎡ 構造 RC造一部S造 地上2階・地下1階 その他 平成14年耐震診断、耐震性能あり	
平成12年以降の主な施設改修工事の状況（年度）	
平成14年 トイレ洋式化工事	
平成17年 大雨被害復旧工事（地下内装改修、地下空調更新、エレベーター改修、電気設備更新など）	
平成26年 屋上キュービクル改修工事、屋上防水工事、トイレ改修工事	
平成30年 空調設備更新工事（1階・2階）	
特徴及び課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・体育館を持つ3コミセンのうちのひとつ。子ども対象の時間区分を設けるなど工夫。スポーツに限らず、演劇や吹奏楽演奏会などイベント会場としての利用も多い。 ・市民の寄付によるランドピアノ「ベヒシュタイン」を活用した演奏会やコンサート事業を実施 ・開館当初に1階ロビーに設置したパブスペースは現在給湯室で使用 ・視聴覚室の防音に改善の余地がある。 ・1階ロビーをオープンスペースとして展示などに工夫して活用 	

(6) 本町コミュニティセンター

建設概要	
建設年度	昭和54年度（老朽度D）
延床面積	507.02㎡
構造	SRC造 地上3階
その他	平成14年耐震診断、耐震性能あり
平成12年以降の主な施設改修工事の状況（年度）	
平成17年	空調設備改修工事、屋上防水工事
令和元年	屋上防水工事
特徴及び課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 3階建てでエレベーターがなく、バリアフリー上の課題が大きい。 ・ 高齢者や子供連れの利用も多く、エレベーター設置が最大の課題である。 ・ 正面の南北道路（本町稲荷通り）は区画道路として拡幅が必要である。 ・ トイレ、給排水管等の各種設備の老朽化が進んでいる。 ・ 1階のサロンスペースの開放的な空間としての活用を工夫している。 	



(7) 八幡町コミュニティセンター

建設概要	
建設年度	平成24年度（老朽度A）
延床面積	597.03㎡
構造	RC造一部S造 地上2階
その他	新耐震基準
平成12年以降の主な施設改修工事の状況（年度）	
なし（平成24年に旧八幡町コミュニティセンターから移転・新築）	
特徴及び課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 建物の愛称「はちコミ」、各部屋の名称を公募で決定した。 ・ ガラス窓を取り入れ、明るく、開放的な空間を創出している。 ・ 廊下に接する部屋は引き戸や可動間仕切りで開放でき、より広く利用できる構成。 ・ 平成24年12月に太陽光発電システム（容量：5kw）を設置している。 	



(8) 関前コミュニティセンター

建設概要	
建設年度	昭和55年度（老朽度D）
延床面積	782.70㎡
構造	RC造 地上2階
その他	平成17年耐震診断、耐震性能あり
平成12年以降の主な施設改修工事の状況（年度）	
平成23年	空調設備更新工事
平成27年	給排水管・トイレ更新工事
平成28年	エレベーター設置工事
平成30年	空調設備更新工事
令和2～3年	給排水設備更新・屋上防水・外壁等工事
特徴及び課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・防音装置のある音楽室、多目的レク室は市内初 ・42畳の大広間では、体操・演劇練習・サークル活動など幅広い活動が可能 ・コミセンまつりでは前庭を活用し、吹奏楽演奏やフリーマーケットなどを行っている。 ・エレベーター設置により利便性が向上 ・令和3年度に完了した設備改修時に、レクリエーション室や調理室等の諸室も改修し、使い勝手が改善された。 	



(9) 御殿山コミュニティセンター

建設概要	
建設年度	昭和56年度（老朽度D）
延床面積	606.87㎡
構造	RC造 地上2階
その他	新耐震基準
平成12年以降の主な施設改修工事の状況（年度）	
平成13年	空調設備改修工事
平成30年	エレベーター設置・屋上防水等工事
特徴及び課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の集会所が隣接している。 ・エレベーター設置により利便性が向上 ・自由に出入りできるオープンスペースが少ない（中庭ウッドデッキの活用方法検討中） 	



(10) 中央コミュニティセンター

建設概要	
建設年度	昭和49年度（老朽度D）
延床面積	1353.18㎡
構造	RC造 地上3階
その他	平成14年耐震診断、耐震性能あり



平成12年以降の主な施設改修工事の状況（年度）	
平成30～31年	給排水管更新工事、空調設備更新工事、内装改修工事

特徴及び課題	
<ul style="list-style-type: none">・ 3階建てであるが、建築基準法上の課題によりエレベーター未設置である。北側階段に車いす用昇降機（リフト）があるが、ほぼ利用がない。・ 調理室や茶室、広い和室など様々な用途で使用可。ただし児童室など子ども用の部屋はない。・ 利用者の高齢化も相まって、エレベーター設置の要望が多い。	

(11) 桜堤コミュニティセンター

建設概要	
建設年度	昭和56年度（老朽度D）
延床面積	344.38㎡
構造	RC造 地上2階
その他	新耐震基準



平成12年以降の主な施設改修工事の状況（年度）	
平成19年	1階・2階トイレ改修工事
平成28年	空調設備更新工事
令和元年	エレベーター設置工事

特徴及び課題	
<ul style="list-style-type: none">・ 隣接の市立公園を利用したイベント（コミセンまつり、夏祭り、もちつき）は地域の恒例行事となっている。・ ホールでの卓球を目的に来館する子どもたちが多い。・ エレベーター設置により利便性が向上した。	

(12) 吉祥寺南町コミュニティセンター

建設概要		
建設年度	昭和57年度（老朽度D）	
延床面積	1481.64㎡	
構造	RC造 地上2階・地下1階	
その他	新耐震基準	
平成12年以降の主な施設改修工事の状況（年度）		
平成13年	屋上防水・外壁改修工事	
平成23年	太陽光発電設備設置工事	
平成24年	エレベーター改修工事	
平成29年	給排水管更新工事、空調設備更新工事、電気設備工事	
特徴及び課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・多目的ホールやスタジオ、キッチン、プレイルームなどを備えた、地下を含む3階層の大型館である。 ・1階には最大100名程度が入れる開放的なサロンがある。 ・屋上に太陽光発電装置を設置している。 ・南側のコミュニティ広場に100tの防火水槽が埋設されている。 		

(13) 緑町コミュニティセンター

建設概要及び課題		
建設年度	昭和61年度（老朽度C）	
延床面積	534.48㎡	
構造	RC造 地上2階	
その他	新耐震基準	
平成12年以降の主な施設改修工事の状況（年度）		
平成25年	空調設備更新工事	
平成27年	外壁改修工事	
平成28年	エレベーター設置工事	
特徴及び課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・練馬区と西東京市に近く、広いロビーを使ったイベントでは他地域との交流が盛ん。 ・コミセンまつりなどでは、隣接のテニスコートを活用した子ども向け事業も実施。 ・ロビーの一角に「緑町ギャラリー」を設け、地域の方の作品などを常時展示している。 ・エレベーターが設置されたことで利便性が向上 ・2階の音楽室は音が漏れるため改善の余地あり。 		

(14) 西部コミュニティセンター

建設概要	
建設年度	昭和61年度（老朽度C）
延床面積	1499.70㎡
構造	RC造一部S造 地上3階・地下1階
その他	新耐震基準
平成12年以降の主な施設改修工事の状況（年度）	
平成14年	トイレ洋式化工事
平成15年	空調設備更新工事
平成16年	屋上防水工事
平成17年	外壁改修工事
平成28年	体育室特定天井改修工事
平成29年	エレベーター更新工事
特徴及び課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館を持つ3 コミセンの一つ。子ども向け事業や運動系のサークル活動が盛ん。 ・ 会議室・和室の数が豊富（全コミセンで最多）で、文化系サークル活動も活発である。 ・ 亜細亜大学が隣接し、イベントでは大学の吹奏楽団などの協力あり。 ・ 茶室の利用が低い傾向にある。 	



(15) 吉祥寺西コミュニティセンター

建設概要	
建設年度	昭和63年度（老朽度C）
延床面積	911.67㎡
構造	RC造 地上2階・地下1階
その他	新耐震基準
平成12年以降の主な施設改修工事の状況（年度）	
平成23年	外壁改修工事
平成24年	旧学童保育室改修工事
平成25年	エレベーター改修工事
平成26年	空調設備更新工事
特徴及び課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 多目的に使えるプレイルーム、音楽などに使える練習室が地下に配置されている。 ・ 庭につながる1階サロンは、かつては学童保育室として使われていた（平成22年10月井之頭小に移転）。 ・ 演奏のできる練習室があるものの、防音設備が整っていない。 	



(16) けやきコミュニティセンター

建設概要	
建設年度	平成元年度（老朽度C）
延床面積	579.24㎡
構造	RC造 地上2階
その他	新耐震基準



平成12年以降の主な施設改修工事の状況（年度）	
平成26年	空調設備更新工事
令和元年	エレベーター設置工事

特徴及び課題	
<ul style="list-style-type: none">・大きな窓が設置され、隣接する公園の緑を感じられる造りとなっている。・家庭的なつながりが持てるよう、キッチンや茶の間は小さめに設計されている。・最も大きいホールでも50人程度しか入れない制約がある。・ギャラリーがあり、絵や写真の発表会などを行うことができる。	

(17) 本宿コミュニティセンター

建設概要	
建設年度	平成2年度（老朽度C）
延床面積	720.19㎡
構造	RC造 地上2階
その他	新耐震基準



平成12年以降の主な施設改修工事の状況（年度）	
平成25年	空調設備改修工事
平成27年	外壁・屋上防水工事

特徴及び課題	
<ul style="list-style-type: none">・本市の2階建ての公共施設として初めてエレベーターを設置。・ガラス張りのロビー、吹き抜けの階段により開放感がある。・ロビーの利用率が高い。ロビー内にガラス張りの子ども室がある。・トイレは、広さや使い勝手も含めて改善の希望が出されている。	

(18) 吉祥寺西コミュニティセンター分館

建設概要		
建設年度	平成3年度（老朽度C）	
延床面積	81.51㎡	
構造	RC造 地上1階	
その他	新耐震基準	
平成12年以降の主な施設改修工事の状況（年度）		
なし		
特徴及び課題		
<ul style="list-style-type: none">・和風の平屋建て建物で、50㎡の集会室のみ。ダンス・演劇練習など音の大きい活動での利用多い。・近所のマンションの管理組合の会合や、不老体操などに使われている。・隣が第一小学校であり、大きな音を出す利用も可能である。・館の開け閉めは近隣の管理人が対応している。		

(19) 関前コミュニティセンター分館

建設概要		
建設年度	昭和46年度（老朽度D）	
延床面積	153.44㎡	
構造	RC造 地上2階	
その他	平成17年耐震診断実施、耐震性能あり	
平成12年以降の主な施設改修工事の状況（年度）		
平成18年	2階内装改修工事	
平成29年	空調機更新工事（1階・2階）	
特徴及び課題		
<ul style="list-style-type: none">・当初2階の1室は市営住宅の管理人室であったが、現在は会議室になっている。・分館での自主事業はないが、福祉の会主催の麻雀教室・囲碁教室、市の不老体操が定期的に開催されている。・館の開け閉めは本館の窓口で行っており、管理運営の負担感がある。・葬儀利用ができる。（関前コミュニティセンターは不可）		

第4章 今後の対応方針

1 コミュニティセンター全般

現在あるコミュニティセンター19館（分館含む）については、これまで個々の地域の特性を踏まえて建設され、市民自治の拠点として発展してきた歴史的な経緯があります。

このため、施設配置の基本的な考え方として、他の公共施設との統合（複合化）に特に積極的な意義が見いだせる場合でなければ、今後も適切に施設の維持修繕を行いながら、16のコミュニティ協議会ごとに施設を維持していくこととします。この上で、原則として、学校施設との複合化・多機能化は行わないこととし、学校施設以外の施設との複合化・多機能化については、双方に利点があるなど積極的な意義が見いだせる場合には、個別に検討を深めることとします。

また、コミュニティセンターは、コミュニティとのつながりの中で上手に諸室の機能や利用方法等を工夫しながら発展してきたことから、施設としても地域に開かれた公共的な空間である必要があります。このため、大規模改修時には、より開かれた諸室の関係や居心地の良い空間づくりの実現を目指していきます。

さらに、バリアフリー面の対応については、地域性に関わらず標準的な仕様・水準を積極的に満たしていくため、トイレの仕様、ユニバーサルな案内表示など、誰もが使いやすい施設にするため、適宜改修を行っていきます。

一方、コミュニティセンターは災害時には「地域支え合いステーション」としても位置付けられるなど、地域コミュニティの核となる機能を有しているため、福祉や防災、教育等との連携や、様々な団体の活動や学校区との関係などを踏まえて、施設に求められる機能・役割について柔軟に議論を進めていきます。

2 特殊事情のある施設

(1) 本町コミュニティセンター

バリアフリーへの対応のほか、設備の老朽化や前面道路の拡幅等の課題を抱えているため、本町1丁目23街区地への施設移転について、具体的な検討を進めます。

(2) 中央コミュニティセンター

バリアフリーの課題改善のため、現施設へのエレベーター設置や、シルバー人材センター跡地及び文化会館駐輪場の敷地活用の可能性を踏まえた増改築等、考えられる対応策を整理し、具体的な検討を行います。

(3) 吉祥寺西コミュニティセンター分館

建築・設備の大きな問題は生じておらず、適切な維持管理を行うことにより、60年の目標耐用年数まで使用可能と考えられます。ただし、隣接する第一小学校の将来的な建て替えに当たって、当分館のあり方について再検討の必要性が生じる可能性があります。

す。このため、将来の使用年数については、第一小学校の建替え計画が具体化する時期において改めて検討するものとします。

(4) 関前コミュニティセンター分館

令和3年度に実施した躯体の健全度調査の結果、大きな劣化は確認されなかったことから、経過観察を行いながら60年の目標耐用年数まで使用可能と判断することができます。なお、市の出張所及び市営住宅の集会所の転用による施設という特殊性を踏まえると、目標耐用年数を超える使用のための建替えや大規模改修は見送る方針が妥当と考えられます。なお、具体的な使用期限については、目標耐用年数の5年間の調整期間（築55年間から65年）の範囲で、今後検討するものとします。

3 スケジュール及び費用（保全改修）

本計画期間中において、給排水設備等の保全改修工事を順次実施する予定である。

施設名（建設年度）	老朽度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12	令和13	対策費用 (単位：百万円)
境南コミュニティセンター (昭和50年度)	D	大規模改修 (保全改修)	維持管理									73
西久保コミュニティセンター (昭和51年度)	D	維持管理										32
吉祥寺東コミュニティセンター (昭和52年度)	D	維持管理										6
中央コミュニティセンター中町集会所 (昭和52年度)	D	維持管理										5
吉祥寺北コミュニティセンター (昭和53年度)	D	大規模改修 (保全改修)	維持管理									227
本町コミュニティセンター (昭和54年度)	D	維持管理										18
八幡町コミュニティセンター (平成24年度)	A	維持管理										24
関前コミュニティセンター (昭和55年度)	D	維持管理										32
御殿山コミュニティセンター (昭和56年度)	D	維持管理				設計	大規模改修 (保全改修)	維持管理				103
中央コミュニティセンター (昭和49年度)	D	維持管理										18
桜堤コミュニティセンター (昭和56年度)	D	維持管理					設計	大規模改修 (保全改修)	維持管理			57
吉祥寺南町コミュニティセンター (昭和57年度)	D	維持管理										66
緑町コミュニティセンター (昭和61年度)	C	維持管理	設計	大規模改修 (保全改修)	維持管理							105
西部コミュニティセンター (昭和61年度)	C	維持管理	設計	大規模改修 (保全改修)	維持管理							293
吉祥寺西コミュニティセンター (昭和63年度)	C	維持管理		設計	大規模改修 (保全改修)	維持管理						181
けやきコミュニティセンター (平成元年度)	C	維持管理			設計	大規模改修 (保全改修)	維持管理					115
本宿コミュニティセンター (平成2年度)	C	維持管理		設計	大規模改修 (保全改修)	維持管理						148
吉祥寺西コミュニティセンター分館 (平成3年度)	C	維持管理										4
関前コミュニティセンター分館 (昭和46年度)	D	維持管理										0

※維持修繕工事は随時実施

※令和4年度の境南コミュニティセンターは外壁改修のみ（休館を伴わない）

【資料編】

パブリックコメント結果について

- 1 募集期間
令和3年12月15日（水）から令和4年1月14日（金）まで（必着）
- 2 配布・閲覧場所
市役所市民活動推進課、各市政センター、図書館、コミュニティセンター、文化施設、市ホームページ
- 3 意見通数
8通（意見総数23件）

No.	ご意見の要旨	市の回答
1	整備する際は「バリアフリー」という以上に、障がい者や外国籍の方など全ての住民を含む「ユニバーサルデザイン」の観点で、設計や内装を施すと良いのではないかと。	改修の際は、誰もが使いやすい施設にするため、ご意見を参考にさせていただきます。
2	食料や衛生・生活用品などを備蓄するというのも盛り込んでほしい。 東日本大震災で被災した時にはシャベルや一輪車を多く使いました。避難所だと台車や脚立なども役立つと思います。 情報発信や外部とのやり取り、現場の記録用としても大いに使えることから、機材関係も災害用ラジオだけでなく、iPadや携帯電話、プリンター（インクも）、モバイルWi-Fi、バッテリー（多め）などがあると便利である。 食料品や衛生用品に加えて、運搬用備品や電子機器なども備蓄して、それらを保管できるようなスペースや倉庫も確保してほしい。	武蔵野市地域防災計画（平成27年修正）には、「備蓄するための十分なスペースを各コミセンに確保・増設することは困難なため、省スペースを考慮した備蓄品の選定を検討するとともに、最寄りの学校避難所へ備蓄しておいて、災害時にコミセンに搬送するなどの方法を検討する。」となっております。今後の同計画の改定の中で検討してまいります。
3	会議室、和室、調理室など色々な種類の部屋は、これからも大事にしてほしい。 また美術室や陶芸窯、ダンスの練習ができるリハーサル室（鏡張り）などの部屋もあると良い。 学校でいう理科室のような火や	コミュニティセンターの諸室は、多様な活動に資するよう、多目的に利用できる部屋の整備を基本としています。大規模改修時には、機能改善も含めて、コミュニティ協議会等と協議をしながら、改修内容を検討してまいります。

No.	ご意見の要旨	市の回答
	<p>水、ガスが使える部屋もあると、科学系や雑貨づくりのなどの教室やサークル活動ができる。火や水、ガスは、災害時には止まるかもしれないが、どれかでも生きていたら重宝する。多種多様な部屋が揃っていなければ、サークルやボランティア活動はできず、そもそも多様な活動も生まれてこない。</p>	
4	<p>既存の多様な部屋やダンスの練習ができるリハーサル室、火や水、ガスが使える「部屋」だけでなく、こどもや学生が自習できる空間や、カーペットが敷かれています、おもちゃや絵本が常備されているような子育てスペース、街の人がふらっと立ち寄れて自由に休憩や読書ができるオープンスペースなどがあると、様々な世代の利用につながっていくと思われる。「部屋」という概念に縛られず、開放感あるスペースもセンター内に構築してほしい。</p>	<p>コミュニティセンターは、様々な世代が利用でき、地域に開かれた公共的な空間であることが重要です。今後の大規模改修時にはそうした趣旨も踏まえ、コミュニティ協議会等と協議をしながら検討してまいります。</p>
5	<p>整備をするなら、いっそのこと外観から建て替えてもいいと思っています。見た目が清潔（トイレが綺麗など）で開放感のある建物にすると若い人も利用すると思われることから、外観から建て替えてもいいと思われる。また、「お洒落」は大事な要素だと思われる。30代である自分と同世代の方と知り合いたいと思っている。今のコミュニティセンターは全体的に古臭いというか昭和っぽい。</p>	<p>コミュニティセンターの魅力向上には建物のデザイン性も重要となるため、今後の改修時にコミュニティ協議会とともに検討してまいります。</p>
6	<p>建て替えや整備は必要だと思うので、積極的に財政を投入してほしいと思う。どんな建物にするかで、日頃の活動や緊急時にも影響がでてくると思うので、ハード面での整備に十分な予算を設けて建て替</p>	<p>今後のコミュニティセンターの整備にあたっては、平常時のコミュニティづくりの拠点としての役割だけでなく、災害時の「地域支え合いステーション」としての位置付けも踏まえて検討してまいります。</p>

No.	ご意見の要旨	市の回答
	え、改築などをおこない、日常的には市民の活動を、災害時には生活を守る機能をしっかり実装してもらいたい。	
7	コミュニティセンターをあまり利用しないがないと困る。	ご意見として承ります。
8	近くの北コミセンで子供のイベントなどをやっているが、いまいちよくわからない。	コミュニティセンターでの各種事業の周知について、各コミュニティ協議会とともに、より効果的な方法を研究します。
9	大規模改修とはどんなことをやるのか。	屋上防水、外壁、給排水管、空調等の劣化に伴う改修や、バリアフリーや省エネルギー等の性能向上のための改修が主となり、内装改修についても併せて検討します。
10	コミュニティセンターへWi-Fiなどのインターネット環境の構築をしてほしい。 構築時には悪意のある使用ができないよう管理してほしい。(時間の制限は使いづらいのでやめてほしい。) 特に学生はインターネットの情報を閲覧して勉強をしたいことがあるので、実現してもらいたい。	コミュニティセンターへのWi-Fi環境の整備については、令和4年2月に完了し、有害サイトの閲覧制限を実施の上、同月16日からフリーWi-Fiの利用が可能となっています。
11	吉祥寺南町コミュニティセンターのトイレは奇麗で広くウォッシュレット付きで使いやすいが、吉祥寺北コミュニティセンターは寒くウォッシュレットも無く、狭くて使いづらい。 以前、吉祥寺北コミュニティセンターの洋式トイレでズボン上げる時に、個室のドアノブの鍵に頭をぶつけて、数針縫う怪我をし、救急車を呼んでもらったことがあるが、いまだに改善されていない。	現在、各コミュニティセンターの改修を順次進めており、吉祥寺北コミュニティセンターのトイレについては、ウォッシュレットの設置など平成26年度に改修を行ったところです。
12	そもそも、コミュニティセンターはだれがどう利用できるのか、知らない方も多いと思う。定期的に利用方法を市報などで案内して欲しい。	コミュニティセンターの利用方法等について、より効果的に案内できるよう検討いたします。
13	転入者への働きかけは行われているのか。転入時に、コミセン	現在、コミュニティセンターの案内リーフレットを転入手続き

No.	ご意見の要旨	市の回答
	案内図を渡してはどうか。	の際に全員にお渡ししていますが、より効果的な周知方法についても研究いたします。
14	コミセンの建物前まで来ないと、そこにコミセンがある、とわからないことが多い。災害時などは、市内の他の場所のコミセンを利用する可能性もあるので、案内図や看板などを、近隣にも設置して欲しい。(住宅地にはることが多いので、近くまで行ってもわからずに迷子になることもある。)	コミュニティセンターへの案内について、より効果的な方法を研究いたします。
15	武蔵野市にとっての「雪」も災害の一つととらえ、「防災」の観点からコミュニティセンターに雪かき用具を配置してはどうか。常時何か出来るわけではない人も、「雪」という非常時に地域のために力を貸せたら、とコミュニティに対する潜在的な意識を掘り起こせるのでは、と思う。防災無線の利用が可能なら、呼びかけをお願いしたい。	現状の課題に対する貴重なご意見として承り、対策を研究してまいります。
16	中央コミュニティセンターの課題として挙げられているバリアフリーについては、大広間や調理室など部屋への出入り等もバリアフリーになっていない。利用者の高齢化が進む一方で、3階建てであるにもかかわらず、建築基準法により“エレベーター”の設置が困難。長年の悲願であるエレベーターの設置が困難であるならば、移転新築を検討して頂きたい。築後60年を目途としている施設更新ではあるが、中央コミセンの現状、中町集会所の現状を踏まえ、二館を一つにした施設の移転新築の検討を望む。	中央コミュニティセンターについては、バリアフリーの課題等の改善のため、現施設へのエレベーター設置や、シルバー人材センター跡地を利用した増改築等、考えられる対応策を整理し、具体的な検討を行います。
17	第3章 個別施設の状況等 各施設の状況について、建物の状態に関する評価のみで、有効利用するためのソフト面（ネット環境等）の評価が無く状況が	ご意見として承ります。 なお、コミュニティセンターのネット環境については、Wi-Fi整備を令和4年2月に完了し、同月16日からフリーWi-Fiの利用が

No.	ご意見の要旨	市の回答
	<p>分からない。 C・D判定の施設が多いので、ソフト面での設備がないであろうことは想像できるが、評価項目に入れた方がいい。</p>	<p>可能となっています。</p>
18	<p>第4章 今後の対応方針 各施設の構造面だけでなく、「第二期 武蔵野市市民活動促進基本計画 令和4年度～令和11年度 中間まとめ」で指摘のあるICTの利用環境と併せた見直しが必要。 建物とネット環境などを同時に考えないと、使い勝手の部分で後に不備があったりコスト増につながるのではないかと。</p>	<p>17の回答をご参照ください。</p>
19	<p>コミュニティセンターが災害時「地域支え合いステーション」となる地域コミュニティの核であることは、平時の利用以上に重要な位置づけであり、改修の際には、特に非常時を想定し平時・非常時のどちらにも対応可能な利便性を検討する必要がある。</p>	<p>6の回答をご参照ください。</p>
20	<p>p.14 コミセンの複合化はコミセンに地域の方が立ち寄る機会が増える可能性があり、コミセンの活性化に役にたつ可能性がある。コミュニティ協議会の自主三原則なども鑑みしっかり協議し良好な複合化は検討する価値があると思う。ただ公共施設の床面積減らしのための複合化は良くないと思う。</p>	<p>基本的な考え方として、今後も16のコミュニティ協議会ごとに施設を維持していくこととし、その上で、積極的な意義がある場合には複合化についても検討を深めることとしています。</p>
21	<p>分館は建物の耐用年数を越えた場合は廃止ということか。</p>	<p>目標耐用年数の5年間の調整期間の範囲で使用期間を検討し、その使用期間の終了後は廃止とする考えです。なお、吉祥寺西コミュニティセンター分館については、第一小学校の建替え計画が具体化する時期に改めて使用年数を検討します。</p>
22	<p>使用する立場として、Wi-Fiが欲しい。 個人利用で長い時間居座るのはどうかと思うが、会議室で講演</p>	<p>10の回答をご参照ください。</p>

No.	ご意見の要旨	市の回答
	<p>や説明をするときなどに不便さを感じている。</p>	
23	<p>P.15 4章2の本町コミセンのところに、「23街区地への施設移転」と書かれている。コミセンのバリアフリー問題、老朽化などを考え、早めの建て替え、移転の必要性は地域の者として強く感じているが、第六期長期計画P.105には、「本町コミュニティセンターの移転を含めた検討を進め、エリア全体の活性化を図っていく。」とかかれている。</p> <p>いつの間に23街区移転ということになったのか？まだ地域で話し合いはなされていないと思う。移転なのか、建て替えてくるのか？そんな話も地域とはまだできていない中で、ここで23街区と記載するのは、23街区に施設移転が事実上の決定になってしまわないかと懸念する。</p> <p>地域との話し合いののちに決定をされるのが望ましいので、現時点では「23街区地への施設移転を視野に入れた今後の計画を検討」にしてほしい。</p>	<p>本町コミュニティセンターについては、バリアフリー化や給排水の老朽化の課題を抱えている一方敷地が狭小であり、前面道路のセットバックの必要性もあるため、現地での建替は困難と判断しています。そのため、令和3年9月に本町コミュニティセンターで開催された地域フォーラム等での移転を希望するご意見も踏まえ、近隣の23街区地への移転に向けて、具体的な検討を進めたいと考えています。</p>

武蔵野市コミュニティセンター整備計画
(公共施設等総合管理計画 類型別施設整備計画)

令和4年3月

事務局 武蔵野市 市民部 市民活動推進課
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 武蔵野市役所西棟7階
電子メール SEC-KATSUDOU@city.musashino.lg.jp
電話 0422-60-1830 (直通) / ファックス 0422-51-2000

